

健康・生活科学委員会 家政学分科会 (第22期 13回) 議事要旨 公開用

日時： 平成25年11月19日(火) 13:00~15:00

場所： 日本学術会議5階 5-C会議室 (1)

出席者： 片山倫子委員、渋川祥子委員、工藤由貴子委員、塚原典子委員、沖田富美子委員

欠席者： 小川宣子委員、多屋淑子委員、都築和代委員、

同席者： 日本学術会議事務局 井須、伊澤氏

資料： 添付資料

資料1. 健康・生活科学委員会 家政学分科会 委員名簿

資料2. 第22期 第12回 家政学分科会 議事要旨(案)

資料3. 公開シンポジウム ポスター

「これからの暮らしに家政学が果たすべき役割—家庭科教員養成の観点から—」

資料4. 提言(案) 期限：平成26年3月提出予定

資料5. わが国の家庭科教育の経験と特徴

資料6. 学習指導要領の変遷

資料7. 家庭科における新学習指導要領等に関するエビデンスについて

資料8-1 TIMSS 2011 (国際調査についての資料)

8-2-1 理科の到達度と児童生徒の態度や教師の指導

8-2-2 算数・数学の到達度と児童生徒の態度や教師の指導

資料9. 大学院段階の教員養成の改革と充実等について

資料10. 教員免許制度の概要

資料11. 暮らしにかかわる技と知識調査 集計結果

資料12. 小・中・高等学校家庭科教員に対するアンケート調査 集計結果

報告事項

(1) 慶応大学理工学部教養科目に対する対応

26年度前期から教養科目「健康と生活」に対応する講義を、「人と生活」を使って始めることになった。担当教員は横浜国立大学の教員とし工藤委員を中心に実施する。

(2) 大学生対象のアンケート調査の実施 (資料11)

小川委員から岐阜女子大学の三輪聖子先生にデータ整理、集計を依頼。

単純集計、一部クロス集計結果について、片山委員長より中間報告がなされた。

(3) 小・中・高等学校家庭科教員に対するアンケート調査の実施 (資料12)

国立教育政策研究所の上野耕史氏より提出された資料をもとに、片山委員長より中間報告がなされた。

議事内容

1. 前回分科会（12回）議事要旨の承認
2. 「提言」について（資料4～12）
報告事項(2)、(3)を受けて、前回議事要旨に記載されている「提言」の作成計画について、資料4～12をもとに検討し、「提言」ではなく「記録」として平成26年9月中に提出することとした。
3. 12月24日開催公開シンポジウムについて（資料3）
次回（12月16日）までに、工藤委員と塚原委員を中心に、計画案を作成する。
シンポジウムの進め方については、次回再検討する。
4. その他
女子栄養大学出版部から、月刊「栄養と料理」2014年1月号（12月9日発売予定）の「催し物カレンダー」欄に12月24日開催の公開シンポジウムの案内が掲載される旨の連絡があった。

以上

次回分科会会議

12月16日（月） 10:00～12:00